まちの防災強化

いつ起きてもおかしくない首都直下型地震に備えてのまちの防災体制を
もう一度しっかりと見直してみる必要があります。

/// 地区防災訓練（11 月 3 日）


親子で消火器訓練


D 型ポンプ 放水訓練

親子で実際の火に向かって消火器を使ってみるのも貴重な体験です。
子どもにも防災に対する意識をもってもらうことは、とても大切なことです。

消防団に放水の指導を受ける小学生と町会の女性消火隊のポンプ操法訓練。小学校のプールを使ったこの訓練は子どもたちにも人気でした。

/// 消防団合同点検（10 月 21 日）




駒沢公園で行われた世田谷区内３消防団合同の点検

世田谷区内３消防団合同の点検が、今年も駒沢公園で行われました。いつもながら、頼もしい各消防団の士気あふれる姿に感心させられました。私たちのまちを守る消防団の皆さんにはこれからもお世話になります。

/// 雨の中の玉川地域ポンプ操法訓練（10 月 28 日）


玉川地域ポンプ操法訓練

雨の中、地域の皆さん真剣に訓練に取り組んでいました。いざというときは、やっぱりご近所の底力がものいう、地域力ですね。多摩川の河川敷で行われた訓練。この日は開始早々雨が降り出し、みなさん合羽を着ての訓練でした。

/// 消火用ホース「スタンドパイプ」


関心の高い「スタンドパイプ」

消火栓に直結して使える消火用ホース「スタンドパイプ」は、まさに住民力が試されると思います。区内２７か所の出張所・まちづくりセンターへの今年度中の配備が決定しています。今後は各町会でも積極的に導入して、まちの防災力を高めていく必要があると思います。訓練でも「スタンドパイプ」は大変関心が高く、大勢の方が熱心に説明を受けていました。



自由民主党

世田谷区議会議員

和田ひでとし通信 第五号

ごあいさつ

師走を迎え、今年もあとわずかとなりましたが、みなさんにとって平成二十四年はどんな年でしたか。自転車で通う区役所への途中、秋の駒沢公園の見事な紅葉、目黒通り・駒沢通り・世田谷通りのいちょう並木の黄葉は例年と比べ一段と鮮やかでした。その後、一気に本格的な冬将軍の訪れで、寒い師走となり、区議二年目の私にとっては、年末選挙もあり、大変あわただしくも実のある一年となりました。この経験をいかして、平成二十五年はさらにまちの絆づくりのために、努力してまいります。

2012 年 12 月 発行
世田谷区議会議員　和田 秀壽
〒158-0083
東京都世田谷区奥沢 1-40-2
電話 03-3720-3542
FAX 03-3720-6928

和田ひでとし区政報告会


区政報告会で語る和田ひでとし

１０月の２２日は東玉川地区会館、２３日は奥沢区民センター、２７日は九品仏地区会館と、今年も３会場で区政報告会を行いました。
この１年間の、和田ひでとしの議員としての活動を、皆さんに聞いていただきました。また皆さんからのご意見も聞かせていただき、今後の活動にいかしてまいります。
これからも、毎年この時期に、開催をいたします。

平成２４年 奥澤神社祭礼


奥澤神社祭礼を大いに楽しむ和田ひでとし

今年も恒例の大蛇お練りで大蛇をかつぎ、無病息災を願いました。地元の東睦の神輿をおもいっきり担ぎました。

木曜朝の駅頭あいさつ



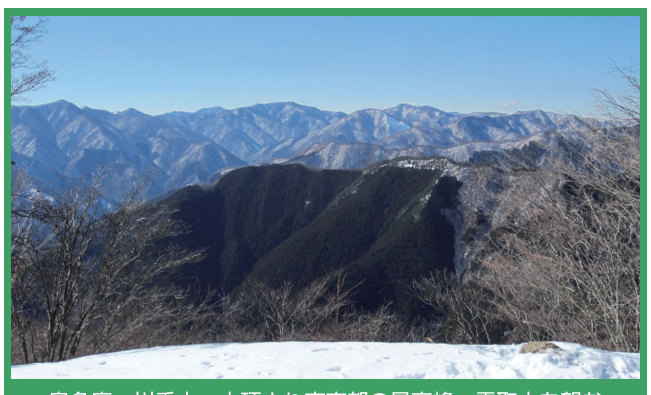
平成２４年１月より始めた「奥沢駅前朝の駅頭あいさつ」。なんとか一年間続きました。引き続き、これからも毎週木曜日の朝、奥沢駅前でがんばります。

自由が丘 クリスマスツリー点灯式


自由が丘南口商店会クリスマスツリー点灯式

１１月２３日、今年も自由が丘南口商店会のクリスマスツリー点灯式が行われました。当日は東急電鉄の主要駅駅長も勢揃い、「ノルノル君」も一緒にお祝いです。子どもたちも飛び入りでパチリ。
東横線は平成２５年春、副都心線乗入れによって、自由が丘の来客数は大幅に増加しそうです。

久々の山歩き


奥多摩・川乗山　山頂より東京都の最高峰、雲取山を望む


奥多摩・川乗山への途中、結氷した百尋の滝

今後の予定

※詳しくは区のお知らせ
または和田ひでとし迄

１月 13 日	世田谷区新年のつどい
１月 14 日	世田谷区成人式
１月 19 日	九品仏地区もちつき大会
１月 20 日	新春奥沢地区まつり

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！

和田ひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com

一般質問「地域の災害対策について」

近い将来必ず起こるであろうといわれています首都直下型地震。
また、いくつもの台風の上陸や集中豪雨など、いつ起きるかわからない災害に備えて、
気になる点をいくつか質問いたしました。

■ 私立学校との避難所協力・協定


避難所の備品を点検する商店会の皆さん

【和田】区では第一順位の避難所として区立の小・中学校を指定していますが、区内には多くの都立や私立の学校があります。指定された避難所へ行くよりも、近くにある都立や私立の学校に避難できることが、より区民の安全・安心につながると思います。避難所の収容可能人数にも限りがあることから、第二順位の避難所として既に協定書を交わしている学校のほかに、協力が得られる可能性があるところについて、区として積極的に働きかけ、避難所の更なる拡大に取り組むべきと考えますが、いかがでしょうか。

【玉川総合支所地域振興課長】地域防災計画では、第一順位の避難所として、耐震・耐火・鉄筋構造を備えた区立の小中学校を原則として町会・自治会または学区を単位として指定しています。第一順位の避難所が被災により機能しない場合、あるいは第一順位の避難所では被災者を収容し切れない場合に、災害の状況に応じて、第二順位、予備の避難所を開設することとなります。

区では、都立高校八校、私立の大学、国立学校など２７校と相互協力協定を締結し、第二順位の避難所として指定しています。現在、未締結の私立学校等についても順次、協議を進めているところです。今後も第二順位の避難所指定に向けて、未締結の私立の高校、私立の大学との間で協定締結に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えています。（第三回定例会より）



奥沢中学校避難所備品の点検

■ 区立小中学校の防災教育推進について

【和田】世田谷区では、地域と共に子どもを育てる「世田谷９年教育」を進めています。地域によって育まれた子どもたちが、いざ災害が発生したときには逆に地域のために積極的に活動できる子どもであってほしいと思います。

災害が発生したときには、自分の命を守ることはもちろんですが、家族や地域の人たちの安全についても、何ができるかを考えて、行動できる子どもたちを育んでいくことが大切であると考えますが、いかがでしょうか。

【教育政策部長】子どもたちが地域防災に関心をもち、災害時に自分に何ができるかを考え、地域の方々とともに取り組むことは大切です。弦巻中学校では、今年１０月に中学生が地域の一員として防災意識を高めていくことをねらいとして、生徒による被災者救援隊「弦中スチューデント･エイド」を発足させ、４０名以上の生徒が参加しています。救援隊は、避難所の受付や車いす避難者の誘導、応急手当、炊き出しなどに取り組むこととしており、地域の方々や消防署、近隣小学校などと連携した避難所運営訓練を実施しました。さらに、中学生が小学生を引率して下校する訓練や、仮設トイレの設置などの訓練を行うなどしている学校もあります。

教育委員会では、各学校において子どもたちの自ら危険を回避する力を育成し、また、子どもたちが地域防災の担い手となるよう、引き続き働きかけていきます。


中学生の防災訓練の様子

【和田】区立の小中学校における防災教育について、どのようなことを行っているか聞いてみると、月１回の避難訓練と答える学校が多いようです。そのほかの防災の指導については、学校により取り組み状況にばらつきがあるのが現状であると聞きました。

防災教育そのものが、学校教育の教科として位置付けられていないことも原因の一つであると思います。首都直下型地震など、いつおきるかわからない災害に備えて、まず区立小中学校での防災教育を着実に実施していくことが重要ではないでしょうか。

そこで、防災を含む安全教育の授業を、関連する教科等の指導に位置付けて、必要であれば教育委員会と所管との連携によって積極的な取り組みができるのではと考えますが、いかがでしょうか。

【教育政策部長】防災にかかわる取り組みを充実させていくためには、様々な機関が連携していくことが大変重要であり、教育委員会としても関係諸機関との連携を図り、各学校の取り組みを支援しています。

例えば、太子堂中学校では、小・中学校と保護者、地域の方々によるサバイバルキャンプを実施し、地域の消防団の協力を得て、避難者の名簿作成やスタンドパイプの操作訓練、小学生の世話などを行っています。教育委員会では、今後も関係諸機関と連携を充実させ、各学校がより積極的に防災教育を推進していくよう、支援していきます。

一般質問「通学路の安全対策について」

今年の春、頻繁に起こりました子どもの通学途中での交通事故。
今までもありましたが、大変痛ましく、何とか対策を考えていかなければなりません。
そこで、通学路の安全について質問いたしました。

【和田】全国において、学校と道路管理者、警察署の三者で通学路の交通安全の合同点検が実施され、対策が必要な通学路が６万カ所に及ぶことが報道されております。世田谷区でも夏休み中に緊急合同点検が実施されたということですが、直ちに対策がとれる箇所ばかりではなく、対応策に時間がかかる地点も多いと思います。

そこでまず、点検を実施し、見えてきた課題などがあれば伺いたいと思います。


通学路の安全点検

【学校健康推進課長】今回の通学路の合同点検については、今年度、通学路において児童生徒が痛ましい事故に巻き込まれたということをきっかけとして実施されたものです。これにより、学校からは一般的に最も効果が高いと思われる歩車道の分離、それから交通規制を要望するような箇所が多く上がってきています。

このような課題があり、既に道路のカラー化、看板の設置など、簡易な対応策については終了した箇所もありますが、今年度と来年度で大方の対応は終了する旨、土木事業の担当のほうからは伺っています。（第三回定例会より）

一般質問「区内南北間の交通手段の充実」

世田谷区は東西の交通手段と比較して、南北の交通は大変不自由です。
私の地域、玉川地域からは、砧・烏山・北沢・世田谷と、どの地域に行くのも大変苦労します。
そこで、まず一つの手段として提案、質問いたしました。

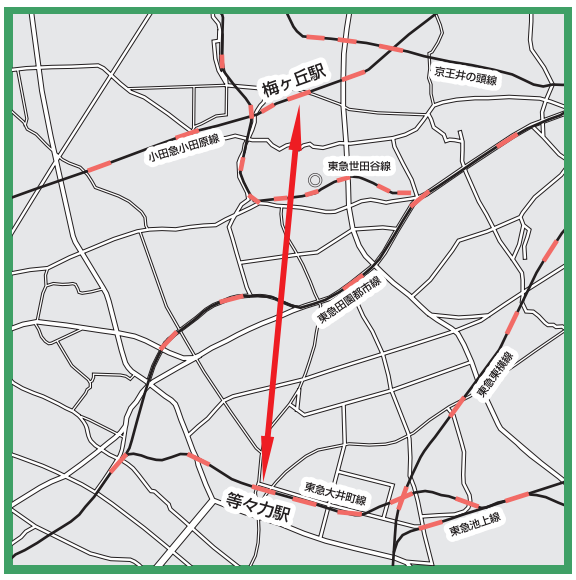
【和田】現在工事が行われています補助１５４号線の梅丘二丁目～世田谷通り間が開通し、相互通行開始が平成２８年度と正式に発表がありました。この道路は、区内の南北間の交通手段の一つとして大変重要な役割を担っていくものと思います。

私は、時々大井町線と等々力駅からの祖師谷ヶ大蔵行きのバスを乗り継いで、世田谷通りにあります世田谷駅前バス停でおりて、工事中の補助１５４号線を歩いて区役所まで通っています。ただし、バスの本数が１時間に２、３本と少ないのと、世田谷通りにあるバス停から少し歩かなければなりません。玉川地域の区民にとって、区役所・区民会館へは、現在のこのバス路線でも何とか利用できますが、電車で二子玉川と三軒茶屋で乗りかえて松陰神社前まで回り道をして来る方法が、時間はかかりますが、やはり確実です。

さらに現在、区で進められている梅ヶ丘病院跡地への保健福祉の拠点づくりがこの秋に計画決定されました。これに伴い、区内の南北間交通の不便さを解消していくことをもっと真剣に考えていかなければなりません。ぜひ玉川地域の拠点である等々力と区役所・区民会館、さらに梅ヶ丘までの交通手段の一つとして、この道路開通に合わせて、バス路線の新設を実現すべきではないでしょうか。これによって、現在まで大変不自由な状況の世田谷区の南北間の交通手段が少しでも解消されればと思いますが、いかがでしょうか。

【交通政策担当部長】補助１５４号線は、平成２５年度の下半期には梅ヶ丘から勝国寺坂交差点までの区間が、平成２８年度には世田谷三丁目交差点から世田谷通りまでの区間がそれぞれ相互交通開始となる予定です。

議員ご提案の補助１５４号線を活用した梅ヶ丘駅と区役所、等々力を結ぶバス路線の導入は、小田急線、東急田園都市線、大井町線などの鉄道を結び、南北交通の強化が図られるとともに、公共交通不便地域の解消につながるものと考えています。ご提案のバス路線の導入については、事業採算性の確保などの課題がございますが、導入する効果は高いと考えられることから、補助１５４号線の開通時期を見据えながら、バス事業者と連携してルートの設定や既存バス路線との調整など、実現が図れるよう取り組んでいきます。



【和田】いろいろ伺いましたが、このバス路線の開通についてはぜひ補助１５４号線のさらに北への延伸によって、将来はこのバス路線をさらに京王線への接続も視野に入れた計画として、南北間の交通アクセスをさらに一歩ずつ確実に充実していただきたいと願っております。（第三回定例会より）